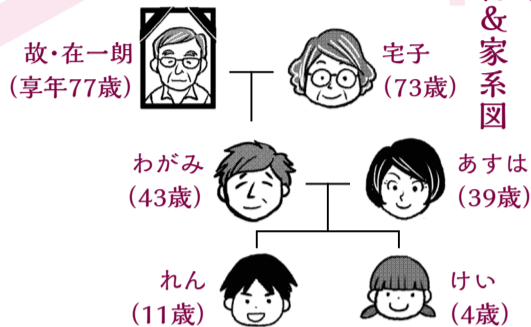


かしわ家 在宅医療ものがたり

市では、在宅医療・介護を含む、地域包括ケアシステムを早くからつくりあげ、全国から注目されています。このコーナーでは、市内に暮らす「かしわ家」を例に、誰にでも起こりうる問題と役立つ市の取り組みを、全9回にわたって楽しく分かりやすく紹介します。

☎ 地域医療推進課 ☎ 7197-1510

かしわ家
登場人物 & 家系図



第7話～在宅認知症編～

おばあちゃんの介護…。 私が仕事を辞めるべき？

要介護認定が下りた宅子さん。認知症地域支援推進員がケアマネジャーを紹介しようとした矢先、新たな問題が…



かしわオレンジ SOSネットワーク

認知症のかたの氏名や特徴等を事前に登録することで、行方不明になった際、市内の協力者に情報が共有され、早期発見・保護につなげるシステムです。登録手続きなど、詳しくは各地域包括支援センターへご確認ください。

介護離職

働き盛りの世代が介護に直面した場合、突発的に起こる問題や、不安等から離職してしまうかたもいます。ですが、就労継続のための両立支援制度や介護保険サービスを利用することで、仕事と介護の両立ができる場合もあります。いざという時に備え、事前に制度・サービスについて理解しておくことが大切です。

デイサービスとは

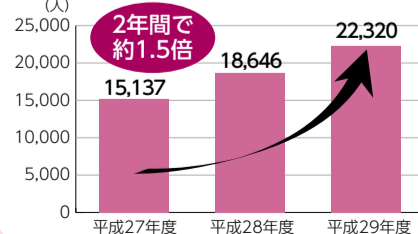
食事・入浴・送迎など日常生活の支援を日帰りで行うもの。各事業所により運動や手作業などサービス内容はさまざま、介護度によって回数・料金等に違いがあります。

すごいね 柏

認知症サポーター

市では、認知症のかたやそのご家族が安心して暮らし続けることのできる街づくりを推進しています。そのため、認知症に関する正しい知識を持ち、できる範囲で認知症のかたやご家族の見守りやお手伝いをする認知症サポーターを養成しています。認知症サポーターはその証としてオレンジリングを持っています。小学生から高齢者まで幅広い世代の認知症サポーターが、街の中で認知症のかたを見守っています。

認知症サポーター数(累計)



グッジョブ!

柏の在宅医療を支える「認知症カフェ」に 関わるかたにインタビュー

認知症のかたが住み慣れた地域で過ごすために、認知症予防の活動、ケアラー(介護者)のかたの心のケア、認知症のかた同士の交流、情報交換などの場としてサポートしています。



ケアラーネットみちくさ
理事長・布川佐登美さん

自分の介護の経験から、同様に認知症の正しい理解をしてほしいとのカフェを始めました。地域のかたや介護者、認知症のかたが気軽に聞かれるような場所がもっと広まってほしいです

介護始めた頃は一人で悩んでいた時期もありましたが、ここに来たことで悩んでいたことの解決策を得ることができました。今でも気軽に地域のかたと交流しながら、不安や悩みを話したり、情報を共有したりしています



ケアラーズカフェを利用している
大高梢さん



今回は…「おばあちゃんらしく過ごせる場所」